

平成26年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒斑病

平成26年12月25日

鳥取県病害虫防除所

表 ナシ黒斑病の越冬菌密度調査(平成26年)

市 町	短果枝の病芽率 (%)			一年生枝上の枝病斑数 (個／枝)			病 枝 率 (%)		
	本 年	前 年	平 年	本 年	前 年	平 年	本 年	前 年	平 年
鳥取市 1	0	0	—	0.1	0	—	6.7	0	—
鳥取市 2	0	3.0	0.6	0	0	0.0	0	0	2.8
鳥取市 3	6.5	1.5	5.1	2.1	1.0	0.7	80.0	60.0	32.0
八頭町	1.5	4.5	3.8	0	0	0.1	0	0	4.9
湯梨浜町 1	4.6	0	2.1	0	0	0.0	0	0	1.1
湯梨浜町 2	0	1.6	1.5	0.1	0	0.0	6.7	0	3.5
倉吉市	3.2	0	1.8	0	0	0.1	0	0	5.5
北栄町	5.0	1.5	3.0	0.6	0.1	0.3	26.7	6.7	17.6
琴浦町	0	0	1.5	0	0	0.0	0	0	2.8
大山町 1	1.6	1.6	0.7	0	0	0.1	0	0	4.4
大山町 2	4.8	0	0.9	0	0	0.1	0	0	4.9
南部町	0	0	0.2	0	0	0.0	0	0	2.2
平 均	2.3	1.1	1.9	0.2	0.1	0.1	10.0	5.6	7.4

平年…平成17年～平成26年

- ・ 1 ほ場当たり60短果枝及び15新梢を調査。
- ・ 短果枝及び新梢は、12月1、4日に採取。

<要約>

12月上旬に行ったナシ黒斑病の越冬菌密度調査の結果、短果枝の病芽率はほぼ平年並であったが、一年枝上の枝病斑数は平年に比べてやや多かった。また、病枝率も平年に比べてやや高く、一部で病枝率の高い園が認められた。

<対策>

越冬伝染源となる病芽、枝病斑を取り除き、その直後にトップジンMペーストの塗布により切り口の保護を行う。